

2025 年石毛博行事務総長年頭挨拶

2025.01.06

公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会

ついに「万博の年」、「万博イヤー」となりました。

開幕まで100日を切り、今日で97日です。

いよいよ万博が始まります。

皆さんと一緒に、一生に一度の万博を迎えられると思うと、私自身もワクワク・ドキドキしてきます。

皆さんの日々のご尽力により、最高の万博が出来つつあります。

万博史上初の「海の上」での万博。

世界最大級の木造建築物「大屋根リング」。

公式参加国は日本史上最多の158か国。

この協会も、2019年の発足から、早6年になります。

最新の職員番号は1308番。

1300人を超える職員の皆さんが、この間、コロナ禍を始めとした様々な困難を乗り越えて、ここまで準備を進めてきました。

本当にありがとうございます。

改めて、心からの感謝を申し上げたいと思います。

さて、皆さまにおかれましても本番を前にして、「もうすぐ始まる」という「期待」と「これからどうなる」という「不安」で一杯だと思います。

そこで本日は、本番に臨む上での、3つの心構え（ポイント）をお話しします。

<本番に臨む上での3つの心構え>

1つめは、私たちが目指すものは何かについてです。

本番を前に、私たちの目指すべきゴールを確認しておきましょう。

70年万博に深く関わった、作家の小松左京さんはこう言っています。

万博の目的は、「人類全体のよりよい明日を見出すこと。その手掛かりをつかむこと」

私も同感です。

では、大阪・関西万博が目指すものは？

テーマに示されています。

それは、私たちの未来はどうなるか？命はどうなるか？どういう未来にしたいのか？を、万博の関係者、来場者、日本全国、そして世界中の人々と一緒に、考えること。

そして、より良い未来、より良い明日をデザインすることです。

この実現に向け、私たちはこれまで、あらゆる準備をしてきました。

プロデューサー選びや基本計画づくりから始まり、会場の建設・整備、交通手段の確保、機運醸成から運営の準備、各国との関係づくりに至るまで。

数えきれない程の準備を重ねてきました。

そして、この準備もいよいよ最終段階です。仕上げの段階です。

パビリオンとの出会い、イベントとの出会い、未来技術との出会い、異文化との出会い、ヒトとの出会い、偶然の出会い。

世界中の人々が半年間、夢洲という同じ場所に集い、日々数えきれない出会いと交流を重ねる。

これこそが、リアルな万博の意義であり目的です。

私たちの全ての準備は、この「出会いと交流の場の実現」にあるという原点を、常に忘れないで欲しいと思います。

ひょっとしたら、その中から何か新しい発想が生まれるかもしれません。

2つめは、世界からの期待に応える、という点です。

「新型コロナ」や「ロシアによるウクライナ侵攻」、「イスラエル・ガザ紛争」等によって、世界は分断の危機にあります。

この困難な時期に、これほど多くの国が大阪・関西万博に参加する、それは、万博を開催することへの世界からの期待の表れに、他なりません。

戦時下のウクライナは、昨年11月に万博への参加を決定しました。

来日した副首相にお会いしました。

副首相からは、「ウクライナがどういう国を目指すのかを、世界に伝える、貴重な機会を頂いた」との感謝が示されました。

このように、『いのち』をテーマとし、分断が進む世界をつなげる、この「大阪・

関西万博の価値」は、かつてない程高まっています。

2018年11月、日本は、ロシアとアゼルバイジャンとの誘致競争を勝ち抜き、開催権を獲得しました。

「日本なら万博を成功させてくれる」「日本で万博をしたい」と信じて、各国は投票してくれたと思っています。

私たち日本は、貴重な万博の開催権を与えてくれた世界との約束を、もうすぐ果たすことができます。

開幕に向けて、公式参加者の万博準備をしっかりとサポートして行きましょう。

3つめは、カスタマー・ファーストです。

昨年も、カスタマーすなわち、お客様第一の姿勢が大事とお伝えしました。

今月からはイベント、パビリオンの「2か月前抽選の申し込み」の受付が始まります。

そして万博が始まれば、私たちの目の前には、常にお客様が居ます。

これからは来場されるお客様の満足に全精力を使っていきたいと思います。

私たち協会側のサプライサイドの目線ではなく、ご来場頂く方々の目線にギア・チェンジして行きましょう。

184日間、2000万人以上が来場する万博です。会期中には、想定していないことも数多く起こるでしょう。

その際、最も大事なことは何でしょうか？

それは、スピード感のある、「日々改善」の実行です。

現場、意思決定、実行の各段階で迅速に改善すること。

最初は上手くいかないこともあるでしょう。

それでも粘り強く日々改善することで、必ずやお客様の満足が得られるようになるはずです。

どんな小さな改善でもいいです。こんないい話しがあつた。こんな困った方々がいた。良かったこと、足りなかったこと、もっとこうしたらいいこと。

頭を柔らかくして、何でもみんなで話し合って、共に進んでいきたいと思います。

大阪・関西万博では、「万博史上最高のお客様満足」を、目指そうではありませんか。

以上、本番に臨むに当たり、3つの心構え、即ち①万博で目指すもの、②世界からの期待に応える、③カスタマー・ファーストについてお話ししました。

開幕はもう目の前です。

本年の干支は「乙（きのと）巳（み）」です。

「乙」は周囲との調和を保ちながら目標に向かって進んでいく力、「巳」は蛇を表し、古来より生命力の象徴とされています。

何か万博を目の前にした私たちの気持ちそのものです。

みんなで心を一つにして、ワンチームで臨み、人々の記憶に遺る、人々の心に遺る大阪・関西万博を実現して行きましょう！

本年もよろしくお願いいたします。